

Mathematica で描画した図を $\text{T}_\text{E}\text{X}$ で利用する方法

栗野俊一 *

2016/11/22

Mathematica で作成した図をファイル ('graph.eps') に出し、 $\text{T}_\text{E}\text{X}$ の中で利用する場合は、includegraphics マクロを利用する。

Mathematica で、`Export["graph.eps",Plot[Sin[x],{x,0,Pi}]]` で、図の情報をファイル ('graph.eps') *¹ に出力する。

ファイルは、「ドキュメント」下に作られるので、そこから、 $\text{T}_\text{E}\text{X}$ ファイルのある場所へ移動する。

$\text{T}_\text{E}\text{X}$ で、その結果を、次のように includegraphics マクロで取り込む。

```
\begin{figure}[htb]
  \begin{center}
\includegraphics{graph.eps}% graph.eps をここに取り込む
  \end{center}
  \caption{サインカーブ}\label{fig:graph}
\end{figure}
```

取り込んだ結果

Mathematica で作成したグラフ (図:1) を取り込みます。形式は、epsf 形式のものです。

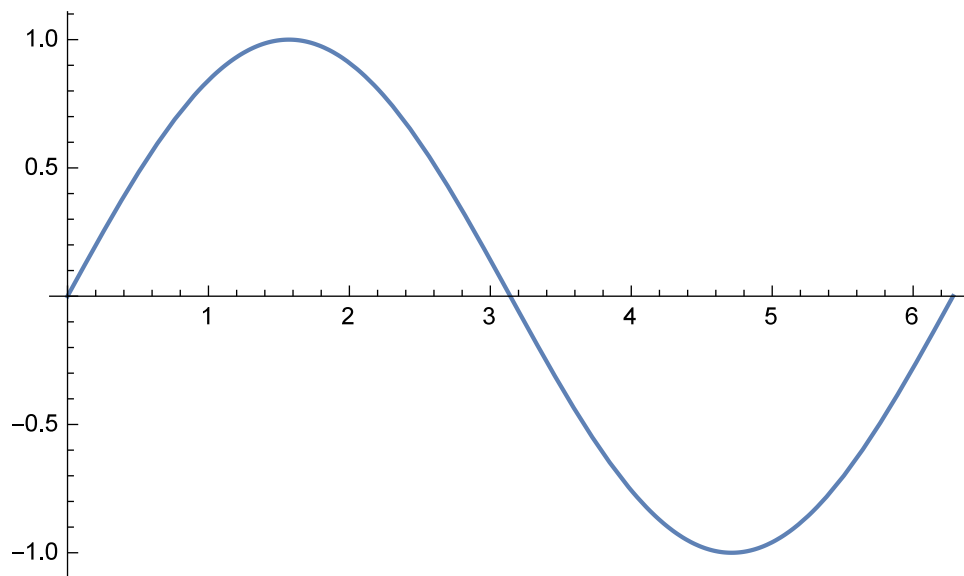


図 1 サインカーブ

* 日本大学理工学部数学科 (kurino@math.cst.nihon-u.ac.jp)

*¹ ファイル形式は epsf になるが、これはファイルの拡張子 (.eps) から自動的に決められる。